

生徒・保護者のみなさま

広島工業大学高等学校  
(通信制課程)  
校長 山口 健治

オンライン学習実施に伴う臨時奨学金の給付及び、  
ご家庭の Wi-Fi 環境整備について(お願い)

平素から本校の教育活動にご理解を賜りましてありがとうございます。

さて、本校は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、4月17日(金)～5月6日(水)まで臨時休校としています。現在、生徒の皆さんは、「すらら」や「Classi」、「Google Classroom」の活用により春期のレポート課題作成や自学自習に取り組んでいると思います。また、保護者の皆さまにおかれましても、不明な点や不安に感じている点を学校へご連絡いただき、生徒の学習環境整備にご協力いただき、誠にありがとうございます。

5月7日以降の学校再開を考えておりますが、現段階で新型コロナウイルス感染症の拡大は収まらず、緊急事態宣言解除に伴う学校再開も見通しが立たない状況です。今後も休校が続く場合、インターネットを活用したオンライン学習を段階的に開始いたします。つきましては、生徒及び保護者の皆さまも、様々な困難に直面している折に誠に恐縮ではございますが、生徒に等しく教育を届けるために、下記の通り、ご家庭の Wi-Fi 環境の整備をお願いいたしたく存じます。

記

オンライン学習の実施に向けて、本校では以下の対応を行います。

1. ご家庭で Wi-Fi 環境を整えていただくための緊急支援として、在籍者全員(休学者を除く)に一人当たり、一律 30,000 円を支給いたします。(具体的な支給方法については、別途お知らせします。)
2. オンライン学習では、第一段階として指定された動画視聴による学習、第二段階としてテレビ会議システムを使用した双方向の対面による学習を計画しています。どちらも本校で行う「スクーリング」への出席数としてカウントすることができます。スクーリングとして認める場合は一定の条件がありますが、詳細は改めてご案内いたします。
3. 科目の内容によっては、沼田の森での体験的・協同的な学習が必要なものもあります。その科目については、今回オンライン学習の対象とはしません。対象の科目を履修している生徒へは、Google Classroom 等で案内します。
4. 本校では、教育の質の確保を第一に考え、オンライン学習実施に向けた体制構築や環境整備など、教職員一丸となって全力で取り組みます。このような状況の中、慣れない方法での学習を行うことはより不安も多くなると思います。少しでも不安が解消し、生徒が安心して学習へ取り組めるよう、万全の体制でサポートします。さらに、皆様から納入していただく学費の一部もこれらの取り組みに要する費用に充てさせていただきます。また、本校が所有する施設設備の維持・管理について、保守を含め一定の経費が発生いたします。このことから「授業料」「施設整備資金」の返還並びに減額は考えておりません。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

(2 ページ目に続きます)

ご家庭のWi-Fi環境整備について、以下のようにお願いいたします。

1. 上記のオンライン学習へ取り組む際、通信容量を圧迫する可能性があります。つきましては、通信容量が無制限となるWi-Fiの接続環境を、5月末をめどになるべく早く整えていただくようお願い申し上げます。工事が必要な場合、1か月以上かかる場合もありますので、申し込みはできるだけ早目をお願いいたします。
2. 現在ご家庭でWi-Fi環境が不十分な場合、環境が整うまでは、使用している端末の通信容量を増やすことで対応をお願いいたします。
3. Wi-Fi環境を整備するにあたり、各ご家庭での準備が整う前に事態が終息し、登校が再開される可能性があることも考えられます。しかし万が一、長期化した場合を想定し、不確実な決断となるかもしれませんが、オンライン学習のできる環境を整備しておく必要があります。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。
4. さらにこの度、テレワークが注目されるなど、インターネットを利用した情報機器を、日常的なツールとして自然に取り扱えるメディアリテラシーを身に付けさせることは、「生きる力」を涵養することになります。社会的自立へ向けた一歩としても、このようなツールを活用していければと考えております。

末筆になりましたが、新型コロナウイルス感染症に感染しないこと、そして自分たちが感染源にならないことが重要です。新型コロナウイルス感染症が落ち着き、一日でも早く通常の学校生活が再開でき、生徒の皆さんと学校でお目にかかることを願っています。

以上